

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A) 平4-27771

⑬ Int. Cl.⁹

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成4年(1992)1月30日

F 03 G 7/10

7713-3G

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全3頁)

⑮ 発明の名称 永久機関

⑯ 特 願 平2-132868

⑰ 出 願 平2(1990)5月23日

⑱ 発 明 者 中 川 和 夫 山形県山形市鉄砲町2丁目22番10号

⑲ 出 願 人 中 川 和 夫 山形県山形市鉄砲町2丁目22番10号

明 細 書

4. 図面の簡単な説明

1. 発明の名称

永 久 機 関

2. 特許請求の範囲

物体が入力エネルギーなしで動き続ける原動機

3. 発明の詳細な説明

(1) 回転軸1につるされた回転ドラム2の中に回転おもり3を置き。

(2) 3に回転宙づりおもり、5を3と5の連結ベルト4で連結して宙づりにする。

(3) 共通回転おもり7を、2と5の連結ベルトチェーン6で連結して、これも宙づりにする。

(4) この構造で中心線ハ-ニより、7が左側に位置することになるので、左側が重くなり左に回転を始める。

(5) つまりこの現象は、2、3、5、7の連結方式から発生する、重力エネルギーの作用によるものである。

(逆に構造を変え、この図の2より3を大きくした場合、大きいおもりの位置する方が重くなる。)

(6) 材質、形状、構造を問わず、重力エネルギーを活用することにより、永久機関が可能となる。

1 は回転軸

2 は回転ドラム

3 は回転おもり

4 は3と5の連結ベルト

5 は回転宙づりおもり

6 は2と5の連結ベルトチェーン

7 は共通回転おもり

ハ-ニは回転物体の中心線

矢印は回転方向を意味する

以 上

手続補正書(自発)

平成 3. 2. 5 日

特許庁長官 植 松 敏 殿



1. 事件の表示

平成2年特許願第132868号

2. 発明の名称

永久機関

3. 補正をする者

事件との関係 特許出願人

山形県山形市鉄砲町2-22-10

中 川 和 夫

4. 補正命令の日付

自 発

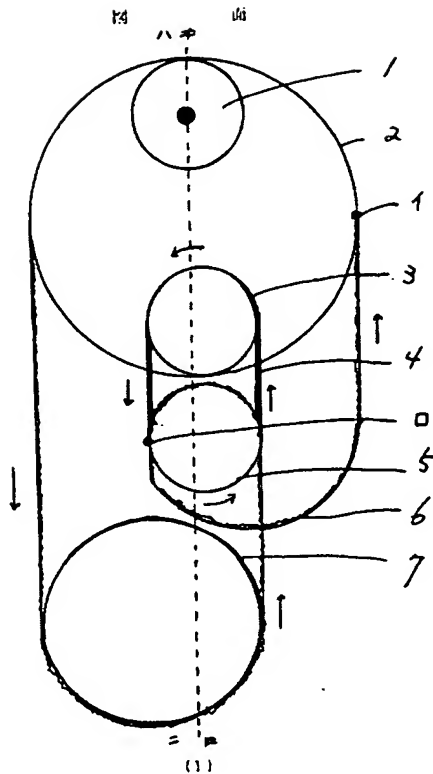
5. 補正の対象

明細書全文および図面

6. 補正の内容

別紙の通り

方式
審査



訂正明細書(全文)

1. 発明の名称

永久機関

2. 特許請求の範囲

回転駆動軸(1)につるされた回転ドラム(2)の内側に回転錘り(3)を配し、該回転錘り(3)に回転宙づり錘り(5)を配置して両者を連結ベルト(4)で連結する。共通回転錘り(7)を回転ドラム(2)と回転宙づり錘り(5)の連結チェーンベルト(6)で連結すると共に、共通回転錘り(7)を中心線A-Aの左側に位置させることを特徴とした永久機関。

3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本発明は、重力エネルギーを利用した永久機関である。

〔従来の技術〕

従来、磁力を利用した永久運動や重力エネルギーを利用した永久機関は、理論上成立したとしても、実際に作動させた場合には摩擦抵抗等の不測のエネルギーの消耗によって作動しない

ということが通説となっている。

〔発明が解決しようとする課題〕

発明者は、重力エネルギーを利用した永久機関に関して種々研究した結果、本発明の構成に到達したものである。

〔課題を解決するための手段〕

本発明は、重力エネルギーあるいは浮力を利用し、回転駆動軸に対して、偏心位置に吊下げられた回転錘りを設けることによって、回転駆動軸は偏心方向に回転を起し、さらに揺動を繰返すことによって回転が持続するものである。

〔作用〕

そして、この回転軸の駆動は不変であって発明者の作業場において現在も駆動し続けており、発電機やモーターの代替えとして十分利用できる回転力を有する。

〔実施例〕

添付図面により本発明を説明すると、図は本発明の永久機関の構成を示す一実施例であって、回転駆動軸(1)に外接してつるされた回転ドラム(2)の下方に内接して回転する錘り(3)を配置し、この回転錘り(3)に宙づりされて回

転する鏈り(5)を配置し、この回転鏈り(3)と宙づりされている回転鏈り(5)を連結ベルト(4)で連結する。そして下方に共通回転鏈り(7)を配置し、この共通回転鏈り(7)を回転ドラム(2)と回転宙づり鏈り(5)の連結チェーンベルト(5)で連結する。そして、この共通回転鏈り(7)の配置に当っては、回転駆動軸(1)の中心から延長される中心線A-Aの左側に偏心させて設けるものである。

したがって、図面に示す実施例にあっては、共通回転鏈り(7)は中心線A-Aの左側に配設されていて、しかも各回転鏈り(3)、(5)、(7)は回転ドラム(2)とチェーンベルト(4)および(6)で連結されているため矢印に示すように始動し、しかも鏈りが吊下げられているため揺動を繰返すことによって常に回転を続けるものであって、この回転によって回転ドラム(2)に内接している回転駆動軸(1)も回転駆動をするものである。

また、図示はしていないが、共通回転鏈り(7)を中心線A-Aの右側に偏心して配置した場合は図の矢印と逆方向に回転することが可能

である。

さらに、回転ドラム(2)よりも内接する回転鏈り(3)の役を大きくすることも可能である。

そして、駆動軸(1)の回転力は共通回転鏈り(7)の重量によって調整できるものである。

本実施例においては重力エネルギーについて説明したが、浮力を応用しても同様の原理で動作するものである。

(効果)

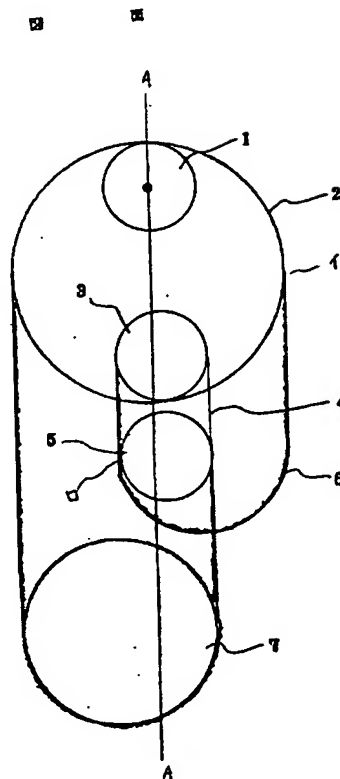
この回転軸(1)の回転力は不変であって、鏈りの重量を調節することによって回転力を調整できるため種々の動力源として利用できるものである。

4. 図面の簡単な説明

図は本発明の永久機関の構成を示す一実施例図である。

- (1) … 回転駆動軸、(2) … 回転ドラム
- (3) … 回転鏈り、(4) … 連結ベルト
- (5) … 回転宙づり鏈り、(6) … 連結チェーンベルト
- (7) … 共通回転鏈り

特許出願人 中 川 和 夫



PAT-NO: JP404027771A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 04027771 A
TITLE: PERPETUAL MOBILE
PUBN-DATE: January 30, 1992

INVENTOR-INFORMATION:

NAME
NAKAGAWA, KAZUO

INT-CL (IPC): F03G007/10

ABSTRACT:

PURPOSE: To adjust torque in a perpetuum mobile which utilizes gravitational energy or buoyancy by providing a rotary weight suspended at a position eccentric to a rotary driving shaft, and thereby adjusting weight of the weights without changing a torque of the rotary shaft.

CONSTITUTION: A weight 3 which is rotated inscribing a lower side of a rotary drum 2 circumscribingly hung from a rotary driving shaft 1 is arranged, and a weight rotated while being suspended from the rotary weight 3 is arranged. The rotary weight 3 is connected to the suspended weight 5 through a connection belt 4. A common rotary weight 7 which is arranged eccentrically to the left side of a center line A-A extended from a center of the rotary driving shaft 1 is connected to the rotary drum 2 by means of a connection chain belt of the rotary suspended weight 5. Since the common rotary weight 7 is arranged on the left side of the center line A-A, the left side becomes heavier and the weight 7 begins to rotate leftward. Oscillation is repeated because the weight is suspended and rotation is always kept, thereby the rotary driving shaft 1 inscribing the rotary drum 2 is rotationally driven.

COPYRIGHT: (C)1992,JPO&Japio

——— KWIC ———

Abstract Text - FPAR (2):

CONSTITUTION: A weight 3 which is rotated inscribing a lower side of a rotary drum 2 circumscribingly hung from a rotary driving shaft 1 is arranged, and a weight rotated while being suspended from the rotary weight 3 is arranged. The rotary weight 3 is connected to the suspended weight 5 through a connection belt 4. A common rotary weight 7 which is arranged eccentrically to the left side of a center line A-A extended from a center of the rotary driving

shaft 1 is connected to the rotary drum 2 by means of a connection chain belt of the rotary suspended weight 5. Since the common rotary weight 7 is arranged on the left side of the center line A-A, the left side becomes heavier and the weight 7 begins to rotate leftward. Oscillation is repeated because the weight is suspended and rotation is always kept, thereby the rotary driving shaft 1 inscribing the rotary drum 2 is rotationally driven.

Title of Patent Publication - TTL (1):
PERPETUAL MOBILE